

# 東京海洋大学海洋科学部 1 年次生における運動能力測定値の推移と カッター選手の体力について

1014003 池田 恵 (海洋スポーツ・健康科学研究室)

## I. 目的

カッター選手の体力に関する研究は少なく、近年では行われていない。一方、村松ら(2002)は「東京水産大学新入生の体格・体力の推移(1995 年度～2000 年度)」において新入生の体力の推移を分析しているが、2001 年度以降は新入生の体力推移の研究は行われていない。本研究では東京海洋大学海洋科学部新入生男子の体力測定結果を収集し、体力の推移を分析した。また、大学カッター選手にも体力測定を実施し、一般大学生と比較することで大学カッター選手の競技力向上のための、体力面における基礎的資料の収集・分析を目的とする。

## II. 東京海洋大学海洋科学部新入生男子の体力測定結果の推移

東京水産大学の 1995 年度から 2002 年度の新入生 1276 名及び東京海洋大学海洋科学部の 2004 年度から 2013 年度の新入生 1144 名の体力測定の結果をグラフ化し、推移を示した。身長は変化がなく、上体起こし・反復横とびが増加し、体重・BMI・握力・長座体前屈・立ち幅とび・20m シャトルランが減少していた。身長が変化していないにも関わらず、体重が減少していることから、筋量の減少が考えられた。

## III. 大学カッター選手の体力について

2013 年 11 月に行われた東日本カッター競技大会新人戦に出場した大学カッター選手 53 名に体力測定を実施した。チーム間の比較では、レース結果と測定結果が必ずしも一致しておらず、レギュラークルーと補欠クルーの比較では、体力的な差は見られなかった。このことから、カッターの競技力を構成する要素には技術力・精神力も関係すると考えられる。カッター選手と一般大学生の比較では、カッター選手は一般大学生より体脂肪率が高く、アスリートとして十分に鍛えられていないと考えられた。ローイング競技における先行研究との比較ではカッター選手はボート選手に比べ、筋力が大きく劣っていることが分かった。

## IV. まとめ

東京海洋大学海洋科学部の体力測定結果の推移は、1995 年度から 2000 年度では向上していた持久力が低下に転じていた。大学カッター選手の体力測定の結果より、カッターで勝つためには体力以外にも技術力・精神力が関係していると考えられる。また、一般大学生、先行研究との比較により、本研究の調査対象であった大学カッター選手はアスリートとして十分に鍛えられていないことが分かった。今後、カッター選手の競技力を向上させるには、技術力・体力双方のレベルアップを目指し、全体的な練習量の増加が必要と考えられる。今後は、今回測定できなかった有酸素性作業能力や脚伸展力の測定が必要である。

## 主な参考文献

松木雅文ら(1981)「カッター選手の体力に関する考察」

村松園枝ら(2001)「東京水産大学新入生の体格・体力の推移(1995 年度～2000 年度)」